

ICTを生かした他地域との交流（総合的な学習を要とした他教科との連携）

全教科でタブレットPCの利活用を図り、情報活用能力や情報リテラシーを育みます。また、ICTで得た知識を互いに理解し、それを積極的に発信していくための情報発信力を育成します。発信し交流する場所を、校内、町内、県内に限らず、国内、海外へと広げていく取組を行っています。同じ思いや体験をしている人たちと交流することで、コミュニケーション能力や問題解決能力を育みます。



タブレットPCを積極的に活用していきます。低学年から活用することで、発達段階に応じた利活用やリテラシーを学びます。CBTを踏まえたICTの手法も学んでいきます。



タブレットPCを活用することで、今までの一部の児童の考えのみの授業から、全員参加型の授業へと転換していきます。全員の考えに触れることで、多様な思考へと展開していきます。



理解のための「予習」と定着のための「復習」を学習支援ソフトを活用し行います。また、時には、家庭学習を生かして授業を行う反転学習にも取り組みます。

福田から地域、埼玉県、日本へ、そして世界へ！（キャリア教育）

校内の異年齢交流だけでなく、地域の方々や他地区の小学生と触れ合うことにより、より地元を意識し、地元を知り、地元で学び、地元を愛する人材を育成していきます。また、様々な職業の方と触れ合うキャリア教育の取組を行うことで、社会的・職業的に自立し、自らの役割を意識するなど、将来へのイメージをもたせていきます。



自分の将来についてのイメージを広げていき、社会的・職業的にも自立をした人材を育成するためのキャリア教育の充実を図ります。それぞれの道の専門家に触れる機会をつくります。



地域の方の福田小学校への思いや子供たちへの思いを様々な活動から感じ取る取組を活性化します。地域を誇りに思う気持ちを育成し、それを各方面へ発信していきます。



異年齢交流を校内だけではなく、校外においても実施します。放課後子供教室における体験活動、就学前の子供との交流等年齢の枠を超えて学び合う素地をつくります。

滑川町立福田小学校

355-0803

埼玉県比企郡滑川町大字福田1660-1

電話 0493-56-2651



☆特認校スタート☆

福田小学校で学びたい人を募集します。

宮前小学校、月の輪小学校の校区から通えます。



令和7年度転入学児童募集

特色ある取組

【体験重視・人間力育成・学力向上】
ICT教育の推進による多様な人材との
関わりを通した総合的な教育

福田小学校は恵まれた自然環境の中で培われてきた歴史と伝統のもと、知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童を育成してきました。

小規模校の特色を生かした教育活動・PTA活動に賛同する方を、一定の条件のもとに就学校として指定します。



特認校とは

通常、住まいの住所に基づいた通学区により就学する学校を指定していますが、特認校制度とは、この通学区に関係なく、希望により通学区外の学校に就学できる制度です。令和6年度より福田小学校を特認校として指定しています。

滑川町教育委員会

福田小学校



はじめに

福田小学校は、恵まれた自然環境の中で培われてきた歴史や文化を、体験活動を通して実感させ、知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童を育成してきました。また、教育目標である「気づき、考え、実行する子」「思いやる子」「心身を鍛える子」の育成に向け、力を注いできました。

このような実績を踏まえ、さらに小規模校のよさを生かした特色ある取組を実施しております。そこで、令和6年度より、福田小学校の教育活動・PTA活動に賛同する方々を、一定の条件のもとで滑川町内から児童を募ることができる「特認校」としての指定を滑川町教育委員会より受け、実践しています。

学校概要について

福田小学校は、滑川町の北部に位置しており、学校のすぐそばには、武蔵丘陵森林公園があり、田園風景が広がる豊かな自然に囲まれています。その自然環境を生かした特色ある取組として、「谷津沼農業での米づくり」や「天然記念物『ミヤコタナゴ』が棲める沼づくり」等、「里山プロジェクト」や「放課後子供教室」等を行い、地域に根ざした共生社会実現を目指し、学校・家庭・地域が連携強化した活動を行っています。

特認校のコンセプト 「福田小の学びを地域から世界へ！」

福田小学校では、特色ある取組として①ICT教育の推進、②キャリア教育、③地域連携の3つを柱として取り組んでいきます。地域のイベントに参加し、地域を知ることから始まり、地域で学び、地域のよさを発信していきます。学んだことを発信するためにICTを活用し、町内だけでなく、将来は県内・国内・海外に向けて発信するなど、遠隔での学びも視野に入れています。自分たちの取組を発信することで、課題解決能力や情報活用能力、コミュニケーション能力を育てていきます。

児童数(令和6年度)※令和6年3月1日現在

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
福田小	20	12	23	16	15	18	104

日課表

日 課 表		
朝の会	8:20 ~	8:30
1校時	8:30 ~	9:15
1休	9:15 ~	9:25
2校時	9:25 ~	10:10
業 間	10:10 ~	10:25
3校時	10:30 ~	11:15
3休	11:15 ~	11:25
4校時	11:25 ~	12:10
給 食	12:10 ~	12:55
清 掃	12:55 ~	13:10
読 書	13:10 ~	13:25
5校時	13:30 ~	14:15
帰りの会	14:15 ~	14:25
下 校	14:35	
6校時	14:25 ~	15:10
帰りの会	15:10 ~	15:20
下 校	15:30	

校区の概要



福田小学校での取組を紹介します



少人数でのきめ細かい指導

「一人一人の子供を主語にする教育活動の推進」をテーマに、少人数での授業の充実に努めています。誰一人取り残すことのない学びを保障する授業はもとより、多くの教科で学年の発達段階に応じたきめ細かな教育課程が組み込まれています。



外国語の授業は、英語の専門的知識を有する教員が3年生以上を指導する専科教育が行われています。少人数のよさを生かし、得た知識を発信するアウトプットを重視した授業を行っています。



少人数のため、実験器具等に触れる機会が多く、自らの考えを検証するための授業を実践しています。児童一人一人が実験にかけける時間を多くとることができること、各自の考えが検証できることから、協働的な学びが実現できます。



各教科において、話し合いの時間を確保し、自分の意見と友達の意見を交流し、よりよい考えへと高めていく充実した話し合いが行われています。その話し合いをもとに、何ができるかを考え実践する授業が行われています。

地域や自然が教室です（谷津沼農業・里山プロジェクト）

地域の教育力や学校近辺の豊かな自然を生かした授業を行っています。低学年では、学校周りの探検、中学年ではミヤコタナゴについての学習、高学年では古来より伝わる谷津沼農業の体験、ミヤコタナゴが棲める沼づくりを目指す生物環境調査・沼清掃など、多くの体験活動を通して、自然と交流し、地域の人と交流することで多様な学び多様な人との関わりができます。



沼の周辺の環境整備をすることで、沼の環境がよくなり、稲作のための豊かな水源が確保できます。その水を利用した稲作づくりで米の恵みが得られます。環境循環でSDGsの実現に向けた実践をします。



谷津沼農法を体験することで、地域の人との関わりや文化・伝統を学んでいます。単なる稲作体験ではなく、日本農業遺産に認定された谷津沼農業に関わることで、環境問題等に関わるESD教育を実践します。



天然記念物であり、町のシンボルである「ミヤコタナゴ」が棲める沼づくりを進める中で、里山のよさを知り、地域の人と関わり、地域学習を実践します。環境や生き物調査を通して、生物の多様性を学びます。